BESリーダー

BESリーダーを使用すると、既存のBESファイルの読み込みのみが可能です。文書の編集はできませんので、内容を書き換えたくないデータを読む際に便利です。

F2キーまたはSpace-m(1-3-4)を押すと、BESエディタのメニューにアクセスできます。メニュー項目にはファイル、読み上げ、編集、移動、オプションのメニューがあり、Space-1またはSpace-4、あるいはCtrlキーまたはAltキーでそれらを移動してEnterで実行できます。

# １ ファイル

ファイルメニューには以下の項目があります。

## 1.1 開く

この項目を選択してEnterを押すか、Enter-o(1-3-5)を押して実行します。既存のBESファイルを開く際に使用します。フォルダやファイルの移動にはSpace-4またはSpace-1を使用します。CtrlキーまたはAltキーを使用することもできます。一つ上の階層へ移動するにはBackspaceを、選択したドライブやフォルダに入るにはEnterを押します。目的のBESファイルに移動して、開きたい場合にはそのままEnterを押すか、F3キーで確認ボタンに移動してEnterを押します。キャンセルする場合には、F3キーで取り消しボタンに移動してEnterを押します。

## 1.2 閉じる

この項目を選択してEnterを押すか、Space-z(1-3-5-6)を押して実行します。BESリーダーを終了します。

# ２ 読み上げ

読み上げメニューには以下の項目があります。

## 2.1 先頭からカーソルまで読み上げ

この項目を選択するか、Backspace-g(1-2-4-5)を押すと、先頭から現在のカーソル位置の前の文字までを読み上げます。

## 2.2 カーソルから最後まで読み上げ

この項目を選択するか、Enter-g(1-2-4-5)を押すと、現在のカーソル位置から最後までを読み上げます。

## 2.3 現在の行を読み上げ

この項目を選択するか、Space-1-4を押すと、現在フォーカスのある行を読み上げます。

## 2.4 現在の単語を読み上げ

この項目を選択するか、Space-2-5を押すと、現在フォーカスのある単語を読み上げます。

## 2.5 現在の文字を読み上げ

この項目を選択するか、Space-3-6を押すと、現在フォーカスのある文字を読み上げます。

## 2.6 カーソル位置を読み上げ

この項目を選択するか、Space-1-5-6を押すと、現在のカーソル位置に関する情報を読み上げます。

# ３ 編集

編集メニューには以下の項目があります。

## 3.1 ブロック選択開始

この項目を選択するか、Enter-b(1-2)を押すと、フォーカス位置をブロックの先頭位置に設定します。

## 3.2 コピー

この項目を選択するか、Enter-c(1-4)を押すと、選択されたブロックをコピーします。

## 3.3 すべて選択

この項目を選択するか、Enter-a(1)を押すと文書全体を選択した状態になります。

# ４　移動

移動メニューには以下の項目があります。

## 4.1 前のページへ移動

この項目を選択するか、space-1-2を押すと、カーソルのあるページの前のページへ移動します。

## 4.2 次のページへ移動

この項目を選択するか、space-4-5を押すと、カーソルのあるページの次のページへ移動します。

## 4.3 ページ選択

この項目を選択するか、space-p（1-2-3-4）を押すと、ページ選択ダイアログボックスが表示されます。Space-1またはSpace-4、あるいはCtrlキーまたはAltキーでページ番号を指定して、Enterを押すと指定したページへ移動します。

なお、ここで指定するページ番号は実ページ番号となります。つまり「１」を選択すると表紙に移動します。

## 4.4 検索

本文から文字列を検索します。

この項目を選択するか、space-f(1-2-4)を押すと検索ダイアログボックスを開きます。検索ダイアログボックスは「検索文字列｣、｢検索方向｣、｢確認｣ボタン、｢取消｣ボタンで構成されています。F3で各項目を切り替えることができます。

「検索文字列」エディットボックスに検索したい文字列を入力し、「検索方向」でSpaceを押して「前へ」または「次へ」を切り替えてください。Enterを押すと検索を実行し、検索文字列が本文中にあればそこへ移動します。

「検索方向」リストボックスで上下スクロールボタンを押すと「文字種判別」のオン/オフ（大文字と小文字の判別）と「スペースを無視」のオン/オフを設定する事ができます。

必要項目の入力後Enterを押すか、「確認」ボタンを実行すると検索を開始します。

## 4.5 再検索

この項目を選択するか、enter-f(1-2-4)を押すと、前回検索した文字列で再度検索します。

# ５ オプション

## 5.1キーコード表示

機器に固有のキーコードを表示します。この項目を選択するか、space-k(1-3)を押すと実行され、使用している機器に固有のキーコードが表示されます。ただし、このキーコードは通常の使用において必要ありません。